

静岡で歩いてたどる 明治維新

静岡市歴史博物館の周辺には、明治時代の静岡にゆかりのある寺院や名残を今に伝える石碑などがたくさん。気軽に散歩しながら、明治時代の静岡に思いを馳せてみませんか？

モデルコース 出発：JR静岡駅 北口

徒歩 約10分

1 宝台院 (慶喜謹慎の地) 碑



謹慎の身となった慶喜は、水戸からここ宝台院へ移りました。

徒歩 約15分

2 城代屋敷跡・葵文庫跡 (静岡市歴史博物館) 碑



江戸時代には駿府城を守る城代屋敷、大正時代末には静岡県立中央図書館の前身である葵文庫がありました。

徒歩 約25分

3 旧家達邸跡 (西草深公園)



家達は最初、駿府城内の元城代屋敷に住み、のちにここ静岡浅間神社の神主の屋敷に移りました。

徒歩 約10分

4 富春院 (中村正直ゆかりの寺) 碑



近所に暮らし、「敬字先生」と呼ばれていた中村正直ゆかりの品が伝わっています。



臨濟寺 (関口隆吉墓所)
関口夫妻の墓所です。

中村正直宅跡 碑

静山荘跡 (関口隆吉居宅)
関口隆吉が住んだ邸宅跡です。

静岡浅間神社 (関口隆吉顕彰碑)
明治19(1886)年に初代静岡県知事となった関口隆吉の功績を称えた碑が建立されています。

静岡学問所跡 (静岡地方合同庁舎) 碑
静岡学問所は当初、元勤番組頭屋敷(現:静岡市民文化会館付近)に仮に置かれていましたが、後に四足門内の元定番屋敷(現:合同庁舎一帯)に移りました。

教覚寺 (渋沢栄一旧宅、常平倉跡)
明治2(1869)年、現浮月楼に慶喜が引っ越す際「商法会所」を改組した「常平倉」がここに設置されました。また、静岡を離れるまで渋沢は妻子を呼び寄せ、ここに居住しました。

西草深ポケットパーク (旧慶喜邸跡) 碑
紺屋町の元代官屋敷(現:浮月楼)に住んでいた徳川慶喜は、東海道線開通前年の明治21(1888)年、西草深に転居しました。

足を伸ばして

静岡市清水区

小島陣屋

静岡市清水区
小島本町・小島町内



江戸時代には小島藩という藩の陣屋でした。静岡藩ができるまで地方役所として使われました。

■ JR興津駅→しずてつジャストラインバス「小島南」で下車→徒歩7分

菊川市

関口隆吉銅像

JR菊川駅前
関口隆吉と菊川市のゆかりを記念して、菊川駅前に銅像がたてられています。



沼津市

沼津兵学校跡

沼津市大手町
静岡藩は旧沼津城内に藩校として沼津兵学校をひらきました。
■ JR沼津駅→徒歩5分

沼津市明治史料館

沼津市西熊堂
旧幕臣で沼津とかかわりの深い江原素六や、静岡藩の藩校であった沼津兵学校などを紹介する博物館です。
■ JR沼津駅→富士急バス「明治史料館前」下車すぐ



※この地図は実際の建物・通り等の所在と名称を一部省略して作成しています。